

小生は医師歴 40 余年になるが、肝炎ウイルスが、炎症とは別経路で直接的に肝発癌に関与していることを研究してきた身でもあり、ウイルス駆除による肝発癌制御を目指し続けてきた。1990 年代中盤から 2010 年頃に、外来で C 型慢性肝炎患者に毎週のように肝癌が見つかり、また、肝癌治療をしてもすぐに再発するという「何とかしなくてはならない」状況を経験したことが根底にある。

C 型慢性肝炎に(ペグ)インターフェロン(IFN) + リバビリン治療が承認され、駆除率が 50% まで上がってきたが、副作用がひどく患者を宥める日々もあった。次いで、理論的には著効するはずの直接作用型の抗ウイルス薬が、ようやく上市されたが、強い皮膚障害などの副反応が起こりやすく、「毒と薬は紙一重」を実感した。しかし、IFN 以前の「毒にも薬にもならない」肝炎治療に比すれば長足の進歩であった。

2015 年頃から IFN フリーの直接作用型の抗ウイルス薬の上市が始まり、次々と新薬が出ては次の新薬にとって替わられるという「ジェットコースター・ドラマ」を見聞いたのも、貴重な経験であった。

C 型肝炎関連肝癌は減少した。しかし現在、非 B 非 C 型肝炎の増加が著しく、50% を超えている。この状況にしっかりと対応していく必要がある。

本特集では、お忙しい先生方に、このあたりをご執筆いただいた。この場を借りて、篤く御礼申し上げる。

(小池 和彦)

臨牀 消化器内科® Vol. 37 No. 8

©2022 年 7 月 20 日発行

定価 3,300 円

(本体 3,000 円 + 税 10%)

年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail gastro@nmckk.co.jp

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 三報社印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2022, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 日本メディカルセンターが保有します。

・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

■ 広告申込所 / 日本医学広告社

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-12-8 電話 03-5226-2791